

縄文時代中期の大集落～松ヶ崎遺跡～

令和5年10月14日(土) 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

●松ヶ崎遺跡とは？

松ヶ崎遺跡は八戸市中心部から南東約4kmに位置し、新井田川とその支流の松館川に挟まれた、標高27～45mの台地上に立地します。

これまでの調査により、市内最大規模の縄文時代中期の集落跡と判明しています。

●第11地点の調査成果(裏図)

現在調査中の第11地点は、遺跡の中央に位置します。令和元年度から調査を始め、今年で調査5年目です。調査対象面積は約8,622㎡で、これまで約6,300㎡を調査し、**竪穴建物跡90棟以上**や**掘立柱建物跡4棟**、**盛土遺構**など、縄文時代中期を中心とする多数の遺構が見つかりました。

①縄文時代の盛土遺構を発見

調査区の西側と北側では、土などが堆積する盛土遺構が2か所見つかりました(裏図ドット部)。

西側の盛土遺構は南北約40m・東西約30mの規模で、多量の遺物を含む土が最大約1mほどの厚さで堆積しています。盛土遺構からは、縄文時代中期中葉～後葉(円筒上層c式～榎林式など)の土器のほか、土偶や石棒などの祭祀関係遺物や獣骨(シカなど)、炭化材、炭化種子なども出土しています。一方、北側の盛土遺構には遺物はほとんど含まれていません。

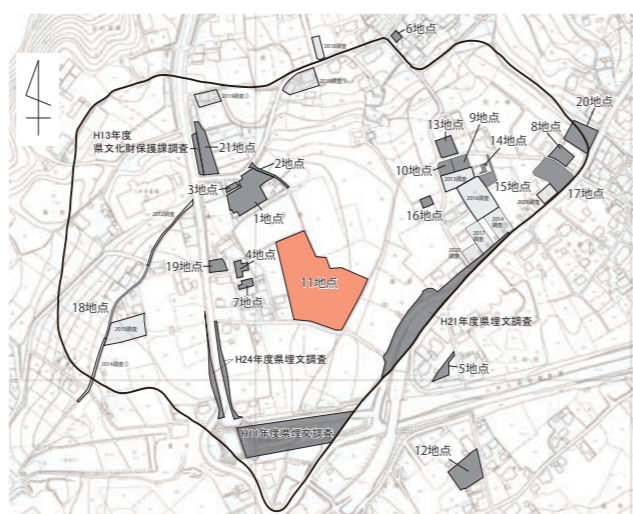
この盛土遺構の下からは竪穴建物跡などが複数見つかり、竪穴建物廃絶後のくぼ地を埋めるように盛土遺構がつくられたこともわかりました。



盛土遺構(西側) 遺物出土状況(南東から)
遺物を含む土がマウンド状に堆積しています。



調査地点遠景(南から)



調査地点位置図(南から)

		北海道西部～北東北	南東北
約5,900年前	縄文時代前期	十和田火山の噴火	
		円筒下層a式	大木2b式
		円筒下層b式	大木3式
		円筒下層c式	大木4式
約5,500年前		円筒下層d式	大木5式
		円筒上層a式	大木6式
		円筒上層b式	大木7a式
		円筒上層c式	大木7b式
約4,500年前	縄文時代中期	円筒上層d式	大木8a式
		円筒上層e式	大木8b式
		榎林式	大木9式
		最花式	大木10式
		大木10式併行	大木10式
		⋮	⋮

東北地方の縄文時代前中期の土器編年表
(七ヶ浜町歴史資料館企画展図録
「大木式土器の世界」(2018)より一部改変)

②縄文時代の竪穴建物跡を多数発見

調査区の中央から西側にかけての範囲では、竪穴建物跡が多数見つかりました。一部では、地山(自然に堆積した土)が見えないほど、竪穴建物が密集しているところもあります。

竪穴建物跡の時期は、縄文時代中期中葉～後葉のものがほとんどで、大きく分けて北海道南西部～北東北の円筒式土器(円筒上層c式～d式など)が出土するものと、南東北の大木式土器(大木8a式～8b式など)が出土するものがあります。前者は長辺約2～4mのやや小型で円形のものが多く、後者は長辺約5～10mの中型からやや大型で、楕円形や隅丸方形のものが多いです。

また、床面近くから炭化した木材が出土する焼失建物も数棟みつっています。

③その他の施設

調査区の東側は遺構が比較的少なく、土坑墓(時期不明を含む)や、木の実などの貯蔵穴(フラスコ状土坑)などが点在します。

調査区の中央部では、6本柱の掘立柱建物跡が4棟みつっており、いずれも長軸が北北西を向いています。周辺では、柱穴が複数みつっていることから、掘立柱建物跡が増える可能性があります。

●おわりに

これまでの調査によって、第11地点における縄文時代中期の集落の様子が少しずつわかってきました。

調査区の中央から西側には、多数の竪穴建物跡や掘立柱建物跡などが分布し、東側にはフラスコ状土坑などが分布しています。2棟以上が重なっている竪穴建物も多数あることから、同時に多数の建物が存在していたのではなく、何世代かにわたってこの場所に集落が営まれたと考えられます。

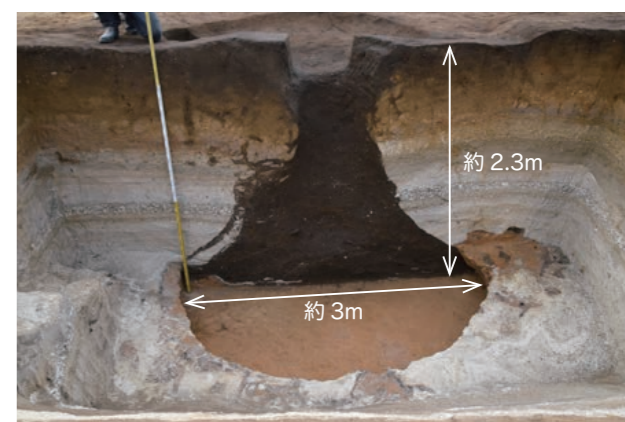
来年度も調査は続きますので、今後の調査成果にご期待ください。



上: S197 竪穴建物跡(円筒上層d式)
下: S192 竪穴建物跡(大木8b式併行)の比較



S1102 竪穴建物跡 炭化材検出状況(東から)
竪穴建物の床面から炭化した木材(クリ)が見つかりました。
ここでは梁や棟材のほか、柱材もみつっています。



SK190 フラスコ状土坑の断面図(東から)

松ヶ崎遺跡第11地点遺構分布図 (R5.9.28時点)

未調査

- 縄文時代の竪穴建物跡 (円筒式土器)
 - 縄文時代の竪穴建物跡 (大木式土器)
 - 縄文時代の掘立柱建物跡
 - 縄文時代の土坑墓 (墓の可能性のあるものを含む)
 - 縄文時代のフラスコ状土坑
 - 盛土遺構
 - 古代の竪穴建物跡
- ※図中の遺構略号は以下の通り
 SI: 竪穴建物跡 SB: 掘立柱建物跡
 SK: 土坑・土坑墓・フラスコ状土坑 SD: 溝跡
 MP: 溝状土坑 SX: 性格不明遺構

盛土遺構 (北側)

盛土遺構 (西側)

土坑墓群 (時期不明)

- 検出遺構 (R5.9.28 現在)
- <縄文時代中期>
たてあな 竪穴建物跡 85 棟・ほったてばしら 掘立柱建物跡 4 棟
 土坑 51 基 (うち土坑墓 15 基、フラスコ状土坑 11 基)
 溝状土坑 1 基・盛土遺構 2 か所など
 - <古代> 竪穴建物跡 5 棟
 - <時期不明> 溝跡 1 条・土坑墓 11 基など

